

「主によって誉れを受ける」

2018年11月29日

テサロニケの信徒への手紙 Ⅱ 1章8節～12節 主イエスは、燃え盛る火の中を来られます。そして神を認めない者や、わたしたちの主イエスの福音に聞き従わない者に、罰をお与えになります。彼らは、主の面前から退けられ、その栄光に輝く力から切り離されて、永遠の破滅という刑罰を受けるでしょう。かの日、主が来られるとき、主は御自分の聖なる者たちの間であがめられ、また、すべて信じる者たちの間でほめたたえられるのです。それは、あなたがたがわたしたちのもたらした証しを信じたからです。このことのためにも、いつもあなたがたのために祈っています。どうか、わたしたちの神が、あなたがたを招きにふさわしいものとしてくださり、また、その御力で、善を求めるあらゆる願いと信仰の働きを成就させてくださるよう。それは、わたしたちの神と主イエス・キリストの恵みによって、わたしたちの主イエスの名があなただたの間であがめられ、あなたがたも主によって誉れを受けるようになるためです。

「著者」は、「あなたがたを苦しめている者には、苦しみをもって報い、また、苦しみを受けているあなたがたには、わたしたちと共に休息をもって報いてくださるのです。主イエスが力強い天使たちを率いて天から来られるとき、神はこの報いを実現なさいます」と、神は正しい裁きを行うと語った。

その裁きの日には、「主イエスは、燃え盛る火の中を来られます。そして神を認めない者や、わたしたちの主イエスの福音に聞き従わない者に、罰をお与えになります。彼らは、主の面前から退けられ、その栄光に輝く力から切り離されて、永遠の破滅という刑罰を受けるでしょう」と言う。キリストの再臨の姿は、ダニエル書7章13節の「見よ、『人の子』のような者が天の雲に乗り」という黙示文学的表現に原型を持っている。主イエスは、これを踏まえ、「そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると（マルコ13:26）」と語っておられる。パウロも、「合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます（Ⅰテサロニケ4:15）」と書いている。ところが、Ⅱテサロニケでは、主イエスは燃え盛る火の中を来られ、福音に聞き従わない者たちを、栄光に輝く力から切り離し、永遠の破滅という刑罰を与えると言う。

一方、主イエスが来られるかの日は、「主は御自分の聖なる者たちの間であがめられ、また、すべて信じる者たちの間でほめたたえられるのです。」と述べ、キリストの福音を信じ、従った聖なる者たちは、主イエスを崇め、褒め称える日となる。主イエスが崇められ、褒め称えられるのは「それは、あなたがたがわたしたちのもたらした証しを信じたからです。」と、あなたがたが「著者」たちの証しを信じたからであると語る。「どうか、わたしたちの神が、あなたがたを招きにふさわしいものとしてくださり、また、その御力で、善を求めるあらゆる願いと信仰の働きを成就させてくださるよう。」と、さらに信仰に進むようと祈っている。あなたがたを招いてくださった神の力で、招きに相応しい者として、善を求める願いと信仰の働きを実現させてくださるよう。それは、私たちの主イエスの名があなただたの間で崇められ、あなたがたも主によって誉れを受けるようになるためである。主イエスが崇められることと、あなたがたが誉れを受けることは、同時に起こる。そのために、キリスト信徒が求められているのである。